

令和8年度 入学試験問題（一般選抜） 出題意図

【国 語】 ①

高校で学ぶ基本的な知識・読解力の定着度を測る出題をしている。出題範囲は、近代以降。

大問一 現代文・評論 奥村隆『他者という技法 コミュニケーションの社会学』からの出題。
本文中の漢字・語句に関する知識を確認しつつ、空欄補充・脱文補充、抽象的な表現についての
内容説明、本文全体の論の展開を把握する設問等を通じて、文章を論理的に読み取る力を問
う。

大問二 現代文・随筆 暦本純一『妄想する頭 思考する手 想像を超えるアイデアのつくり
方』からの出題。

本文中の漢字・語句に関する知識を確認しつつ、空欄補充、筆者独自の表現についての内容説
明、表現や構成の特徴を捉える設問等を通じて、文章を論理的に読み取る力を問う。

大問三 知識事項についての出題。

評論用語の意味、敬語の用法、品詞の識別、慣用句・故事成語、四字熟語などの出題を通じて、
幅広い角度から知識事項の理解度を問う。

【国 語】 ②

高校で学ぶ基本的な知識・読解力の定着度を測る出題をしている。出題範囲は、近代以降。

大問一 現代文・評論 小山亘『コミュニケーション論のまなざし』からの出題。

本文中の漢字・語句に関する知識を確認しつつ、空欄補充・脱文補充、抽象的な表現について
の内容説明、本文全体の論の展開を把握する設問等を通じて、文章を論理的に読み取る力を問
う。

大問二 現代文・随筆 小池昌代『黒雲の下で卵をあたためる』からの出題。

本文中の漢字・語句に関する知識を確認しつつ、空欄補充、筆者独自の表現についての内容説
明、本文全体を踏まえて筆者の考えを捉える設問等を通じて、文章を論理的に読み取る力を問
う。

大問三 知識事項についての出題。

評論用語の意味、敬語の用法、品詞の識別、慣用句・故事成語、四字熟語などの出題を通じて、
幅広い角度から知識事項の理解度を問う。

【英 語】 ①②

高校で学習した英語の基礎学力・運用力・読解力をみる問題で構成。英語コミュニケーション
I・IIの範囲から出題している。

第1問 単語の正しい発音・アクセントの理解を問う。

第2問 文法・語彙・語法の基礎的な知識を問う。

第3問 文法・語彙・語法の基礎知識を用いた英文の構成力を問う。

第4問 会話の流れや、登場人物の発言の意図や状況を把握する力を問う。

第5問 長文の文脈や展開を把握する力や、内容の理解力を問う。

【数学 I ・ A】

4大問で構成されている。各分野から偏りなく出題し、教科書の基礎・基本が確実に身につけているかどうかを問う。

第1問 数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質の分野からの出題。各分野の基礎的な理解を中心に小問形式で問う。

第2問 2次関数の分野から、大問形式での出題。2次関数の最大・最小の考え方を2次関数のグラフの特徴を押さえたうえで、基本事項の理解をもとに考察する力を問う。

第3問 図形と計量の分野から、大問形式での出題。四面体を題材にして、空間図形の中の平面図形に着目し、展開図もイメージしながら、三角比や図形の性質の基本事項に結びつけて考える力を問う。

第4問 確率の分野から、大問形式での出題。規則に従って座標上を動く点についての確率を求める問題で、問題設定の解釈する力と、それを踏まえて設問を満たす状況を正確に判断する力を問う。また、これらを踏まえて、適切に立式し確率を求められることもねらう。

【生物基礎】

生物基礎の全分野から、基本的な内容を中心に出題している。

第1問 「小問集合」 (生物基礎)

生物基礎の全分野から、小問形式で出題している。語句選択や文章選択の形式を中心に、図・グラフを用いた問題などで、幅広いテーマに関して基本的な知識を問うている。

第2問 「生物の特徴」 (生物基礎)

生物基礎の「生物の特徴」の分野の内容を中心に出題している。本問では、生物の共通性についての理解や、酵素のはたらきに関する実験を素材として、目的のために必要な実験操作とその結果に関して考察させるなど、幅広く問うている。

第3問 「遺伝子とそのはたらき」 (生物基礎)

生物基礎の「遺伝子とそのはたらき」の分野の内容を中心に出題している。本問では、ハーシーとチェイスの探求を素材として、実験結果のグラフをもとに考察させている。また、DNAの複製方法に関する仮説について、問題文で与えられた情報と知識とを活用して推察する力を問うている。

第4問 「ヒトの体の調節」 (生物基礎)

生物基礎の「ヒトの体の調節」の分野の内容を中心に出題している。本問では、生物の体内環境の維持に関する理解を問うている。また、免疫のはたらきに関する基本的な知識を問うている。